

# 北海道 公衆衛生学雑誌

ISSN 0914-2530 CODEN HKEZEA

Vol 12 No1 1998

Hokkaido Journal of Public Health

## Contents

### 第50回北海道公衆衛生学会プログラム

学会長 札幌医科大学教授 三宅浩次  
会期 平成10年11月26・27日  
会場 かでる2・7 (道民活動センター)  
札幌市中央区北2条西7丁目

### 特別講演

#### 北海道公衆衛生50年の軌跡と展望

札幌医科大学医学部  
公衆衛生学講座教授

三宅浩次

### 教育講演

#### I. ライフスタイルと痛

久留米大学医学部  
公衆衛生学講座教授

福田勝洋

#### II. 北国の豊かな住生活

北海道大学名誉教授

荒谷登

#### III. 内分泌かく乱物質をめぐる今日的課題

##### 1. 環境ホルモン、ダイオキシンの有害作用

札幌医科大学医学部  
公衆衛生学講座助教授

菅原直毅

##### 2. 北海道の「ごみ処理の広域化計画」について

北海道環境生活部環境室  
廃棄物対策課長

金晃太郎

#### IV. 食品としての組織え作物

北海道食品加工研究センター  
食品加工部長

浅野行藏

北公衛誌  
Hokkaido JPH

北海道公衆衛生学会 通巻33号

## 第50回 北海道公衆衛生学会

学 会 長 三宅浩次 札幌医科大学公衆衛生学講座教授

副学会長 妹尾秀雄 北海道保健福祉部技監  
宮田睦彦 札幌市保健福祉局医務監

会 期 平成10年11月26(木)・27日(金)

会 場 かでる2・7 (道民活動センター)

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目  
(TEL 011-231-4111 内線 36-111 総合案内)

第一会場 かでるホール

第二会場 4階大会議室

### 会場案内図



「かでる27」への  
最寄りの交通機関

- ① J R — 札幌駅  
② 地下鉄 — さっぽろ駅  
③ ◇ — 大通駅  
④ ◇ — 西11丁目駅

- ⑤ { JRバス  
市営バス } 北1条西丁目  
中央バス (停留所)

①から徒歩10分

# 学会運営についてのお知らせ

## 1. 学会参加の皆様へ

- (1) 会場受付で、講演集代 (2,000 円)、参加費 (学会員は 1,000 円、非学会員は 2,000 円) を納めてください。  
なお、一般演題発表者及び講演集事前申込み者には、あらかじめ講演集をさしあげてありますので、参加費を納めてください。  
引き換えにネームプレートをお渡ししますので、氏名・所属を記入の上、着用してください。  
ネームプレートの無い方の入場はお断りします。
- (2) 喫煙および飲食は必ず所定の場所をお願いいたします。
- (3) 会場内での呼び出しは行いません。伝言板をご利用ください。

## 2. 一般演題の発表者へ

- (1) 発表者は前演者の発表が始まると同時に、会場前部の「次演者席」に着席してください。
- (2) 抄録に基づいて発表していただき、討論を行います。スライド、OHP等は使用できません。(資料配付は可能です。)
- (3) 1 演題につき発表 8 分、討論 2 分の合計 10 分とします。
- (4) 発表時間 (8 分) の終了とともに、進行係が合図します。

## 3. 一般演題の座長の方へ

- (1) 前座長の登壇と同時に、会場前部の「次座長席」に着席してください。
- (2) 担当の演題発表の進行は、座長に一任致します。1 演題につき 10 分 (発表 8 分、討論 2 分) を目安に、全体として予定時間通りの進行となるようをお願い致します。
- (3) 討論に際しては、所属と氏名を述べてから発言するように、指示してください。

## 《関連行事》

北海道公衆衛生協会 平成 10 年度研究集会

11 月 25 日 (水) 13:30 ~ 17:00 かでる 2・7 (1 階ホール)

テーマ『介護保険をめぐる最近の動向』

基調講演「北海道における介護保険の準備について」

現状報告「各市町村における取り組み状況について」

第 31 回北海道衛生公衆衛生セミナー『少子社会を考える』

11 月 26 日 (木) 18:00 ~ 20:00 かでる 2・7

第50回 北海道公衆衛生学会 日程

		第1会場 (ホール)	第2会場 (4階大会議室)
11月26日(木)	午前	学会長挨拶 (9:30 ~ 9:35)	
		特別講演 (9:40 ~ 10:40) 北海道公衆衛生50年の軌跡と展望 札幌医科大学医学部 公衆衛生学講座教授 三宅浩次	
	一般演題 (演題番号) 保健婦A 1 - 4 (10:50 ~ 11:30) 保健婦B 5 - 7 (11:30 ~ 12:00)	一般演題 (演題番号) 歯科保健A 34 - 36 (10:50 ~ 11:20) 歯科保健B 37 - 39 (11:20 ~ 11:50)	
	昼		北海道公衆衛生学会 理事会・評議会 (12:10 ~ 13:00)
午後	総会 (13:00 ~ 13:35)		
	教育講演Ⅰ (13:40 ~ 14:30) ライフスタイルと癌 久留米大学医学部 公衆衛生学講座教授 福田勝洋		
	教育講演Ⅱ (14:30 ~ 15:20) 北国の豊かなな住生活 北海道大学名誉教授 荒谷登		
	一般演題 (演題番号) 母子保健 8 - 11 (15:30 ~ 16:10) リハビリ 12 - 14 (16:10 ~ 16:40) 衛生統計 15 - 17 (16:40 ~ 17:10)	一般演題 (演題番号) 歯科保健C 40 - 42 (15:30 ~ 16:00) 精神保健 43 - 46 (16:00 ~ 16:40) 感染症A 47 - 49 (16:40 ~ 17:10)	
11月27日(金)	午前	教育講演Ⅲ (9:40 ~ 11:00) 「内分泌かく乱物質を めぐる今日の問題」 1. 環境ホルモン、ダイオキシンの有 害作用 札幌医科大学医学部 公衆衛生学講座助教授 菅原直毅 2. 北海道の「ごみ処理の広域化計画」 について 北海道環境生活部 環境室廃棄物対策課長 金昇太郎	
		教育講演Ⅳ (11:10 ~ 12:00) 食品としての組換え作物 北海道食品加工研究センター 加工食品部長 浅野行蔵	
	昼		北海道公衆衛生学雑誌編集委員会
午後	一般演題 (演題番号) 老人保健A 18 - 21 (13:30 ~ 14:10) 老人保健B 22 - 26 (14:10 ~ 15:00) 生活保健 27 - 30 (15:00 ~ 15:40) マスカリニング 31 - 33 (15:40 ~ 16:10)	一般演題 (演題番号) 感染症B 50 - 53 (13:30 ~ 14:10) 感染症C 54 - 57 (14:10 ~ 14:50) 環境衛生A 58 - 60 (14:50 ~ 15:20) 環境衛生B 61 - 64 (15:20 ~ 16:00)	

## 特別講演

### 特別講演

第1日 11月26日(木) 9:40～10:40 第1会場 ホール

「北海道公衆衛生50年の軌跡と展望」

演者 三宅浩次 札幌医科大学医学部  
公衆衛生学講座教授

座長 山村晃太郎 旭川医科大学医学部  
衛生学講座教授

## 教育講演

### 教育講演 I

第1日 11月26日(木) 13:40～14:30 第1会場 ホール

「ライフスタイルと癌」

演者 福田勝洋 (久留米大学医学部  
公衆衛生学講座教授)

座長 木村浩男 (北海道立衛生研究所所長)

### 教育講演 II

第1日 11月26日(木) 14:30～15:20 第1会場 ホール

「北国の豊かな住生活」

演者 荒谷登 (北海道大学名誉教授)

座長 浦澤正三 (札幌医科大学医学部  
衛生学講座教授)

### 教育講演Ⅲ 「内分泌かく乱物質をめぐる今日の問題」

第2日 11月27日(金) 9:40～11:00 第1会場 ホール

#### 1. 環境ホルモン、ダイオキシンの有害作用

演者 菅原直毅 (札幌医科大学医学部  
公衆衛生学講座助教授)

#### 2. 北海道の「ごみ処理の広域化計画」について

演者 金 晃太郎 (北海道環境生活部  
環境室廃棄物対策課長)

座長 妹尾秀雄 (北海道保健福祉部技監)

### 教育講演Ⅳ

第2日 11月27日(金) 11:10～12:00 第1会場 ホール

#### 「食品としての組換え作物」

演者 浅野行藏 (北海道食品加工研究センター  
加工食品部長)

座長 藤田晃三 (札幌市衛生研究所所長)

## 一般演題

第1演者のみを掲載しています

第一会場（ホール） 11月26日（木）午前

保健婦A 10:50~11:30 座長 佐伯和子（札幌医科大学保健医療学部）

- 1 オホーツク地域における中堅保健婦研修会の評価  
ー研修会参加者の力量の自己査定からー  
椋原尚子（中標津保健所）
- 2 保健婦科学生の研究活動の実態  
平成2年度から8年度までの7年間を対象として  
針金佳代子（北海道立衛生学院）
- 3 新任保健婦のバーンアウトと関連要因  
河原田まり子（北海道立衛生学院）
- 4 「主体性を尊重した援助」に関する学部学生の学び  
ー地域看護学実習を通してー  
加藤欣子（札幌医科大学保健医療学部看護学科）

保健婦B 11:30~12:00 座長 平野恵子（札幌医科大学保健医療学部）

- 5 保健婦基礎教育における地域ケアコーディネーション技術実習の学習効果  
（第1報）新カリキュラムにおける技術実習の位置づけ  
小関三千代（北海道立衛生学院）
- 6 保健婦基礎教育における地域ケアコーディネーション技術実習の学習効果  
（第2報）ー実習のねらいと展開方法の概要ー  
高橋由美子（北海道立衛生学院）
- 7 保健婦基礎教育における地域ケアコーディネーション技術実習の学習効果  
（第3報）実習評価ー保健婦として必要な技術の学びの到達ー  
小出智子（北海道立衛生学院）

第一会場（ホール） 11月26日（木）午後

母子保健 15:30~16:10 座長 下岡香奈子（岩見沢保健所由仁支所）

- 8 3歳児の生活に関する調査結果報告（第一報）  
～中標津保健所管内の3歳児の体格と生活リズム～  
稲石ゆみ（中標津保健所）
- 9 3歳児の生活に関する調査結果報告（第二報）  
～中標津保健所管内の3歳児の食事と生活リズム～  
百々瀬いづみ（中標津保健所）
- 10 3歳児の生活に関する調査結果報告（第三報）  
～中標津保健所管内の3歳児のう歯と生活リズム～  
渡邊加奈子（中標津保健所）

- 11 「高校生の赤ちゃんふれあい体験」事業の取り組み  
渡辺浩美 (門別町役場)

リハビリテーション 16:10~16:40 座長 荒田吉彦 (滝川保健所)

- 12 主体性獲得を目指した機能訓練事業Ⅰ  
~新コースの誕生と参加者の成長~  
石川美帆 (旭川市健康推進課)
- 13 主体性獲得を目指した機能訓練事業Ⅱ  
~自己評価とQOLの向上~  
田野祐子 (旭川市健康推進課)
- 14 主体性獲得を目指した機能訓練事業Ⅲ  
~機能訓練事業は障害者教育~  
石井喜代美 (旭川市健康推進課)

衛生統計 16:40~17:10 座長 志達晃一 (北海道大学医学部公衆衛生学)

- 15 過去10年における医療系論文の統計手法について  
~主に保健・医療系(臨床医学を除く)における手法別の推移~  
村松 亨 (北海道大学医療技術短期大学部)
- 16 男子出生割合(出生性比)の推移  
大見広規 (名寄保健所)
- 17 医師の寿命  
加藤達也 (札幌医科大学医学部4年)

第一会場(ホール) 11月27日(金)午後

老人保健A 13:30~14:10 座長 鈴木滋生 (江別保健所当別支所)

- 18 老人保健事業基本健診における受診者の健康と栄養に関する意識調査からの一考察  
百々頭いづみ (中標津保健所)
- 19 在宅痴呆性高齢者の財産管理をめぐる問題  
北村久美子 (旭川医科大学地域保健看護学科)
- 20 在宅高齢者の冬季における日常生活行動と関連する保健事業の推進方策  
(第1報 運動量調査)  
荒田吉彦 (滝川保健所)
- 21 在宅高齢者の冬季における日常生活行動と関連する保健事業の推進方策  
(第2報 保健事業のニーズ調査)  
廣島 幸 (帯広保健所広尾支所)



老人保健日 14:10~15:00 座長 望月吉勝 (旭川医科大学地域保健看護学科)

- 22 鷹栖町高齢者におけるソーシャルサポートネットワークと  
死亡についてのコホート研究  
築島恵理 (北海道大学医学部公衆衛生学講座)
- 23 女性教員の老親介護に関する役割意識  
大槻美佳 (旭川医科大学付属病院看護部)
- 24 老人医療費の都道府県別格差  
—多変量解析を用いて北海道における高い要因を探る—  
園田智子 (札幌医科大学医学部公衆衛生学講座)
- 25 常呂町における脳卒中予防にむけた取り組み  
畑中弘美 (常呂町役場)
- 26 脳卒中患者等地域ケアシステムに関する聞き取り調査について  
下道幸恵 (紋別保健所遠軽支所)

生活保健 15:00~15:40 座長 村松 宰 (北海道大学医療技術短期大学部)

- 27 札幌市における「生活習慣改善相談事業」の概要と検証  
～事業概要と課題について～  
本間ひとみ (札幌市南区保健福祉部)
- 28 札幌市生活習慣改善相談事業における栄養相談の実態について (第1報)  
～食生活実態把握の方法と指導～  
小林ゆかり (札幌市手稲区保健福祉部)
- 29 札幌市生活習慣改善相談事業における栄養相談の実態について (第2報)  
～生活行動実態把握の方法と指導～  
猪股順子 (札幌市東区保健福祉部)
- 30 保健所における訪問栄養指導事業の取り組みについて  
西館由紀子 (紋別保健所)

ダブルリンク 15:40~16:10 座長 西 基 (札幌医科大学医学部公衆衛生学)

- 31 大腸がん集団検診実施成績と問題点 第2報  
小沼真澄 (旭川がん検診センター)
- 32 乾燥濾紙血液による妊婦抗HIV抗体マス・スクリーニングの検討  
本間かおり (札幌市衛生研究所)
- 33 HIV/AIDSを「自分のこととしてとらえる」ためのエイズ教育  
島 睦美 (苫小牧市役所)

## 一般演題

第1演者のみを掲載しています

第二会場（4階大会議室） 11月26日（木）午前

歯科保健A 10:50~11:20 座長 和田聖一（北海道保健福祉部地域医療課）

- 34 歯科保健における各種資料の管理と配布システム  
—WEBクライアント/サーバーシステムを利用して—  
花田日出夫（室蘭保健所）
- 35 上川管内当麻町における成人歯科健診から  
山田 均（旭川保健所）
- 36 小樽市の在宅寝たきり者訪問歯科指導事業  
中村悦子（小樽市保健所）

歯科保健B 11:20~11:50 座長 鈴木恵三（穂別町ふれあい健康センター）

- 37 ついに50%を切った3歳児のう蝕有病率  
—全道の3歳児歯科健康診査結果から—  
和田聖一（北海道保健福祉部地域医療課）
- 38 幼児のう蝕発生にかかわる甘味食品の摂取頻度について  
中山 司（釧路保健所）
- 39 保育所・幼稚園の口腔内状況の3年間の推移  
—俱知安保健所管内におけるフッ化物局所応用事業から—  
中山佳美（北見保健所）

第二会場（4階大会議室） 11月26日（木）午後

歯科保健C 15:30~16:00 座長 請井繁樹（札幌市保健衛生部）

- 40 札幌市保育園児の平成10年度歯科健診結果から  
（第1報）茶の摂取状況とう蝕罹患傾向  
秋野憲一（北海道大学歯学部予防歯科）
- 41 札幌市保育園児の平成10年度歯科健診結果から  
（第2報）シュガーレス製品の認知・摂取状況とう蝕罹患傾向  
兼平 孝（北海道大学歯学部予防歯科）
- 42 歯科衛生士の就業及びバンク登録状況について  
齋藤明美（北海道保健福祉部地域医療課）

**精神保健** 16:00~16:40 座長 竹居田和之(苫小牧保健所)

- 43 作業訓練にかわる就労援助のありかた  
—社会復帰学級作業部門の18年間の経過から—  
奥村宣久 (北海道立精神保健福祉センター)
- 44 精神障害者の社会参加地域支援事業について  
植村かよ子 (苫小牧保健所)
- 45 精神保健ボランティア講座受講者の意識変容について  
吉成淳一 (滝川保健所)
- 46 釧路市の母親の孤立感に関する調査  
松永澄子 (釧路市健康推進課)

**感染症A** 16:40~17:10 座長 砂川紘之(北海道立衛生研究所)

- 47 道内で検出された大腸菌の病原因子保有状況  
内山康裕 (北海道立衛生研究所)
- 48 フローサイトメトリーを用いた大腸菌O157の検出  
長野秀樹 (北海道立衛生研究所)
- 49 腸管出血性大腸菌O26の分離培地についての検討  
森本 洋 (北海道立衛生研究所)

第二会場(4階大会議室) 11月27日(金)午後

**感染症B** 13:30~14:10 座長 小林宣道(札幌医科大学医学部衛生学)

- 50 幼稚園でみられたSRSVによる胃腸炎の集団発生  
吉澄志彦 (北海道立衛生研究所)
- 51 ロタウィルスによる胃腸炎の集団発生について(第1報)  
信原真澄 (滝川保健所)
- 52 ロタウィルスによる胃腸炎の集団発生について(第2報)  
~家庭内における二次感染が疑われる事例について~  
大下邦彦 (滝川保健所)
- 53 O群ロタウィルスによる急性胃腸炎の集団発生について  
玉手直人 (北海道立衛生研究所)

感染症C 14:10~14:50 座長 中村秀恒 (帯広保健所本別支所)

- 54 19世紀イギリスにおけるコレラ防疫  
- William Farr を中心に -  
廣岡憲造 (旭川医科大学医学部公衆衛生学講座)
- 55 感染症発生動向調査 患者発生予測モデルの検討  
長谷川伸作 (北海道立衛生研究所)
- 56 北海道におけるインフルエンザの流行について (5)  
- 1997年冬~1998年春の流行について -  
伊木繁雄 (北海道立衛生研究所)
- 57 脳症患児からのインフルエンザウィルスの分離  
野呂新一 (北海道立衛生研究所)

環境衛生A 14:50~15:20 座長 山本長史 (浦河保健所)

- 58 札幌市内の飲用井戸の水質検査結果について  
沢田孝子 (札幌市衛生研究所)
- 59 都市住宅地域におけるドクガ防除対策  
畠山亜希子 (札幌市保健所)
- 60 北海道のエキノコックス症の予防について  
山口 亮 (北海道保健福祉部保健予防課)

環境衛生B 15:20~16:00 座長 寺山和幸 (名寄市立名寄短期大学)

- 61 札幌市内の女性の年代別シラカバ、ハウスダスト特異的 IgE 抗体の保有率について  
野村由加利 (札幌市衛生研究所)
- 62 花粉症の予防に関する研究3  
1998年の道内4都市におけるシラカバ空中花粉調査  
小林 智 (北海道立衛生研究所)
- 63 高校生のダイエット実態調査  
~大樹町の学生を対象とした思春期アンケート調査から~  
遠藤美佳 (大樹町役場)
- 64 保健医療機関の分煙実施状況と分煙に向けての取組みについて  
廣田洋子 (岩見沢保健所)

## 第50回北海道公衆衛生学会運営役員

学 会 長	三 宅 浩 次	札幌医科大学医学部
副学会長	妹 尾 秀 雄	北海道保健福祉部
副学会長	宮 田 睦 彦	札幌市保健福祉局
幹 事	浦 沢 价 子	札幌医科大学保健医療学部
幹 事	丸 山 知 子	札幌医科大学保健医療学部
幹 事	小 林 宣 道	札幌医科大学医学部
幹 事	西 基	札幌医科大学医学部
幹 事	池 田 聰 子	札幌医科大学医学部
幹 事	菅原千枝子	札幌医科大学医学部
事務局長	菅 原 直 毅	札幌医科大学医学部

札幌医科大学医学部公衆衛生学講座

060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

Tel 011-611-2111 内線 2361, 2363

Fax 011-641-8101

E-mail PUBL-HLTH @ snow.cc.sapmed.ac.jp

<http://snow.cc.sapmed.ac.jp/pubh/>

学会当日連絡

かでの27 Tel 011-231-4111 内線 36124, 36125

携帯電話 080-6351786